



平成21年4月9日

各 位

会 社 名 株式会社フライングガーデン  
代 表 者 名 代表取締役社長 野沢八千万  
( J A S D A Q ・ コード 3 3 1 7 )  
問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取締役財務部長 片柳 紀之  
( T E L : 0 2 8 5 - 3 0 - 4 1 2 9 )

業績予想の修正及び特別損失の発生並びに繰延税金資産の取り崩しに  
関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年10月31日に公表いたしました平成21年3月期  
(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしました  
ので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,263	37	16	△212
今回修正予想 (B)	8,031	△78	△105	△657
増減額 (B - A)	△232	△115	△121	△445
増減率 (%)	△2.8	—	—	—
(ご参考)				
前期実績 (平成20年3月期)	8,195	168	157	△31

2. 修正の理由

売上高は前回発表予想に対し232百万円減少の8,031百万円となる見込みです。主な要因は、景気後退が一層深刻化する中、個人消費意欲・外食意欲の減退が続き、第4四半期売上高が当社計画に対して、92.4%と低迷したためです。

営業利益は前回発表予想に対し115百万円減少の78百万円の営業損失となる見込みです。主な要因は、売上高減少による利益の減少を、全社的な経費削減で補いきれなかったためです。

経常利益は前回発表予想に対し121百万円減少の105百万円の経常損失となる見込みです。主な要因は、営業利益の減少です。

当期純利益は、前回発表予想に対し445百万円減少の657百万円の純損失となる見込みです。これは経常利益の減少に加えて、下記の特別損失342百万円及び繰延税金資産の取り崩し93百万円を見込んでいるためです。

### 3. 特別損失の発生及びその内容

「固定資産の減損に係る会計基準」に従い、業績の低迷により将来キャッシュフローがマイナスと見込まれる3店舗につきまして83百万円の減損損失を計上する見込みです。第2四半期で既に減損損失を315百万円計上しておりますので、通期では398百万円を計上する見込みです。

また、本日の取締役会にて、平成22年3月期中の撤退を決定した6店舗につき259百万円を特別損失に計上する見込みです。

### 4. 繰延税金資産の取り崩しについて

平成21年3月期の業績見通しを踏まえて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、93百万円を取り崩すこととし、法人税等調整額に計上する見込みです。

### 5. 役員報酬の減額

現況を真摯に受け止め、平成21年2月より常勤取締役の報酬を7～11%減額しております。(終了時期につきましては、平成21年6月といたします。)

### 6. 期末配当について

期末配当につきましては、1株当たり30円に据え置く方針です。

(注) この資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上